



## 森貞 真太郎 准教授が佐賀県内小学校 7 校で科学教室を実施

### 【概要】

理工学部化学部門の森貞 真太郎 准教授が、佐賀県教育庁学校教育課が実施する「外部人材を活用した科学教室」の講師として、2023年10月から11月にかけて県内の7校の小学校で5年生を対象に理科の授業を行いました。

### 【本文】

佐賀県教育庁学校教育課では、子どもたちの自然に対する興味と科学的な思考を育むため、「外部人材を活用した科学教室」を開催しています。今回、佐賀県からの依頼で、理工学部化学部門の森貞 真太郎 准教授が、佐賀県内7か所の小学校5年生を対象に「ものが水にとけるしくみ」をテーマに理科の授業を行いました。

授業では、児童たちに塩と小麦粉を水に溶かす実験とその溶け方の違いを観察してもらいました。また、それらが水に溶ける様子を顕微鏡で観察したビデオの視聴を通して、ものが水に溶ける仕組みや、溶けるものと溶けないものとの違いについて説明しました。

延べ12学級353名の児童に対して授業を行い、いずれの学級でも児童たちは活発に発言し、ものが水に溶ける仕組みについて大いに興味を持ってもらえた様子でした。

### 実施校（実施日）

小城市立牛津小学校	(2023年10月13日)
鹿島市立明倫小学校	(2023年10月19日)
神崎市立仁比山小学校	(2023年10月24日)
武雄市立山内西小学校	(2023年11月7日)
唐津市立呼子小学校	(2023年11月9日)
鹿島市立浜小学校	(2023年11月27日)
みやき町立中原小学校	(2023年11月30日)



科学教室の様子（小城市立牛津小学校）